



診断・治療について



1 標準治療とは

科学的根拠(エビデンス)に基づいて、**現在利用できる最善・最良**であることが示されている治療です。医師の説明をよく聞き、**がん相談支援センター**などで情報を集め納得したうえで治療法を選択しましょう。

詳しく知るには  国立がん研究センターがん情報サービス
<http://ganjoho.jp>



2 新しい医療・治療について知りたい

● 先進医療

保険適用の対象にするかどうか、有効性・安全性を評価し判断するため、厚生労働省が指定した医療技術です。基本的には公的医療保険が適用されませんが、保険診療との併用が認められています。

詳しく知るには  厚生労働省

・ 先進医療の概要について

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan03.html>



・ 先進医療を実施している医療機関の一覧

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan02.html>



● 免疫療法

免疫本来の力を回復させることによってがんを治療する方法です。研究が進められていますが、効果が明らかな薬は一部に限られています。治療効果が認められるがんの種類も限られていますが、今後、作用効果が期待される治療法です。

● がんゲノム医療

がん細胞の遺伝子を調べ、個別に最も適した治療薬の情報提供を行うものです。東北では「がんゲノム医療中核拠点病院」に東北大学病院が指定されました。また、山形県では山形大学医学部附属病院が「がんゲノム医療連携病院」に指定され、医療提供体制の準備を行っている段階です。

詳しく知るには  国立がん研究センターがん情報サービス

・ 免疫療法

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/immunotherapy/immu01.html



・ がんゲノム医療

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/genomic_medicine/genmed02.html



● 重粒子治療

最先端の放射線治療法です。2022年春頃から山形大学医学部附属病院で順次治療開始予定となっています。

詳しく知るには  山形大学医学部東日本重粒子センター
<http://www.id.yamagata-u.ac.jp/nhpb/index.html>



3 緩和ケアってなに？


緩和ケアは、がんと診断された時から、病気や治療に伴う身体と心、生活に関わる不安など様々な苦痛を和らげ、患者さんやご家族の生活の質(QOL)を高め、その人らしく過ごすことができるように支えていくケアです。「緩和ケア病棟」「緩和ケア外来」「医療機関の緩和ケアチーム」「在宅緩和ケア」など、いろいろな場所で専門的な知識と技術に基づいた緩和ケアを受けることができます。

●緩和ケア病棟がある医療機関

がん患者さんの身体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟です。医療費(食事代、差額ベッド代等を除く)は保険が適用されます。在宅緩和ケアを受けている患者さんのご家族の肉体的・精神的疲労を軽減することを目的とした短期(レスパイト)入院など入院形態は多様化しています。緩和ケア病棟がない医療機関にかかっている方も利用することができます。受診や入院を希望される場合は紹介状が必要となるので、主治医に相談しましょう。

医療機関名	住所	電話番号
山形県立中央病院	〒990-2292 山形市大字青柳1800	☎023-685-2626 緩和ケアセンター
山形県立河北病院	〒999-3511 西村山郡河北町谷地字月山堂111	☎0237-71-1505 地域医療支援部
一般財団法人 三友堂病院	〒992-0045 米沢市中央6-1-219	☎0238-24-3700 地域緩和ケアサポートセンター

※緩和ケア外来は、P7～P13のがん診療連携拠点・指定病院、上記医療機関で行っています。

問合せ先  がん相談支援センター、上記医療機関

4 がん診療と歯科診療

治療前に歯科治療やクリーニングを受け、口の中の衛生状態を良くすることは、手術や治療を円滑にすることに役立ちます。治療中や治療後も、必要に応じて歯科を受診し、お口の健康を保ち、しっかり栄養をとりましょう。

5 食事と栄養管理

偏りのないようにバランスの良い食事をしましょう。がんの種類や治療によって気をつける食事内容があるので、主治医に相談して下さい。

6 納得して治療を受けるためには

がんと向き合い行動していくために大切なのは、「信頼できる情報を集めること」と「自分なりの病気に対する考え方を決めること」です。まずは、**あなたの病気を一番理解している主治医からお話を聞きましょう。**

～次ページからのメモを活用してください～

● 質問のポイント

- ・ 気になること、わからないことを書き出してみましょう。
- ・ 質問することをメモにまとめます。限られた時間の中で一度に多くの質問をするのは難しいので優先順位をつけましょう。
- ・ 相談窓口などで一緒に整理してもらおうのも良い方法です。

● 大切なこと

病状を理解する

- ・ あなたの病名や病状、治療法の選択肢、それぞれのメリット、デメリットなどどのように説明されましたか？
- ・ 病気についての説明は十分理解できましたか？

担当医に伝える

- ・ がん以外に治療中の病気や飲んでいる薬をもれなく伝えましょう。
- ・ 質問したいことや希望は整理してしっかり伝えましょう。

治療法を決める

- ・ 説明を受けた治療方法や見通しを理解したうえで、どうしていきたいか決めましょう。焦って一人で決めないようにしましょう。
- ・ 治療の流れを整理しましょう。
- ・ これから受ける治療と病気との付き合い方について整理しましょう。

周囲の人とともに

- ・ 治療が始まるまでに周囲の人に伝えておくことを書き出し、気持ちを共有してもらいましょう。
- ・ 治療にかかる費用の目安を知っておきましょう。
- ・ 緩和ケアを知っておきましょう。(参照：P2、P7～13)

● 違う医師の意見を聞きたい(セカンドオピニオン)

現在治療を受けている主治医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求め相談することを「セカンドオピニオン」と言います。セカンドオピニオンを受けたら主治医に必ず報告し、今後の治療について相談してください。
※主治医を替えたり、転院して治療を受けることはありません。

※全額自費診療となり、病院によって費用が異なります。(参照：P7～13、P15)

7 病気や治療について整理したい

これまで、担当医から受けた説明についてメモしておきましょう。聞き漏らしたことは確認しておきましょう。また、治療はどのように進めていきたいか、今後どのような生活を送っていきたいか、まとめておきましょう。

〔病気について〕

説明をしてくれた方はどなたですか？

一緒に説明を聞いてくれた方はどなたですか？

診断名は何ですか？ がんはどこにあるのですか？

それはどの検査でわかったのですか？

がんの大きさや広がりはどのくらいですか？（病期や転移の有無は？）

もっと検査する必要はありますか？ その検査でわかることは何ですか？

今後起こり得る症状にはどんな治療がありますか？

わからないことを詳しく聞きたい時は誰に相談すればよいですか？

[治療選択やこれからの病気との付き合い方について]

どんな治療法がありますか？

その治療はどのように行うのですか？

(治療の種類・回数・期間・スケジュール・治療形態(入院か通院か)・費用)

選んだ治療で起こり得る合併症・副作用・後遺症(障害)はありますか？

その対処法は何ですか？

いつまで治療法を決めなければいけませんか？

セカンドオピニオンを受けたいとき、手続きはどこで教えてくれますか？

その他、治療するうえで注意することは何ですか？

その治療が効いているのかどうかは、どのように判断するのですか？

治療において大事にしたいことを書き出してみましょう。
